

新市庁舎へ熱供給を行う事業候補者を選定しました。

新市庁舎では、隣接する横浜アイランドタワーと連携し、「横浜市北仲通南地区熱供給事業」として地域冷暖房（DHC※）を導入します。

このたび、本事業で地域冷暖房により熱供給を行う事業候補者を選定しましたので、お知らせします。

※DHC：District Heating and Cooling

1 熱供給事業候補者の選定について

新市庁舎では、空調に使用する熱の供給を隣接する横浜アイランドタワーと共同で受ける「地域冷暖房(DHC)」の導入に向けて、公募型プロポーザル方式により熱供給事業者の公募、選定を進めてきました。公募には3事業者から提案をいただき、評価の結果、次のとおり事業候補者を選定しました。

2 選定結果

順位	提案者	評価点数 (500点満点)
1 (事業候補者)	東京都市サービス株式会社	478.00 点
2 (次点)	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社	403.00 点
3	株式会社シーエナジー	397.10 点

<横浜市北仲通南地区熱供給事業プロポーザル評価委員会における評価>

いずれの提案も経済性に優れるなど意欲的であり、提案者の技術力の高さが反映された質の高い内容でした。

特に、事業候補者となった東京都市サービス株式会社は、地域冷暖房の実績を多く有しており、提案内容においても、一次エネルギーの消費が少ないなどの高い環境性能や非常時の安定供給への対応などが評価されました。

3 プロポーザルの経過

- 平成28年8月2日(火) プロポーザルの公表(募集開始)、記者発表
- 平成28年8月18日(木) 3事業者から参加意向申出(募集締切)
- 平成28年10月12日(水) 3事業者から提案書を受理
- 平成28年11月8日(火) 横浜市北仲通南地区熱供給事業プロポーザル評価委員会
- 平成28年11月22日(火) 総務局第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会(事業候補者等選定)

4 今後のスケジュール

- 平成28年12月 横浜市、横浜アイランドタワー管理組合、事業候補者の3者で基本協定の締結
- 平成28年12月～平成32年1月 事業候補者による設計及び工事
- 平成29年1月 プロポーザル結果報告書の公表
- 平成32年1月 事業候補者と熱供給契約の締結
- 平成32年2月 熱供給開始予定

<本事業の概要>

事業名称：横浜市北仲通南地区熱供給事業

事業場所：横浜市中区本町6丁目50番地の10 新市庁舎内

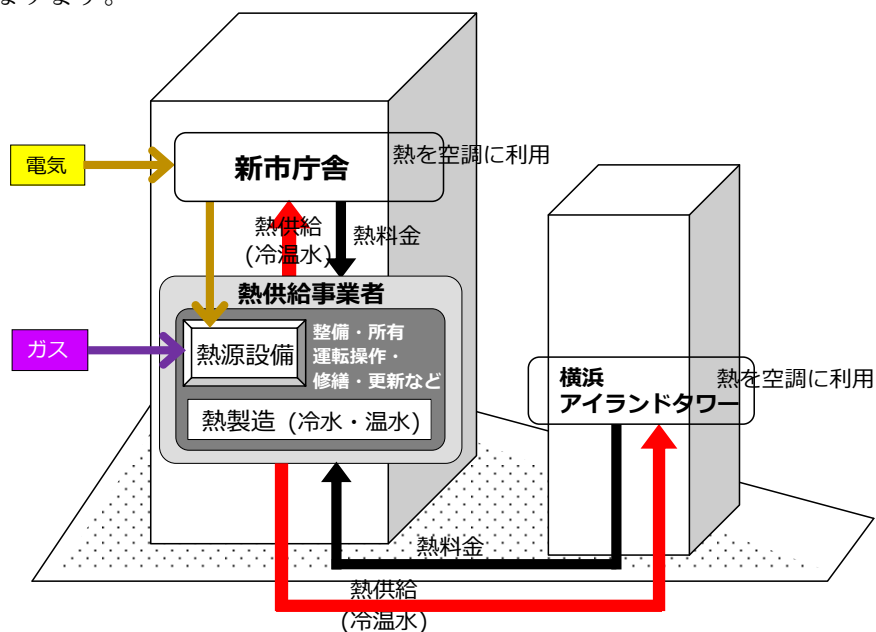
事業内容：熱供給事業法に基づく熱供給事業（地域冷暖房）

- ・熱源設備の設計および設置工事
- ・熱源設備の運転監視および維持管理
- ・熱源設備の修繕、更新

供給区域：北仲通南地区（新市庁舎および横浜アイランドタワー）

地域冷暖房（DHC）とは、熱供給事業者が1か所で冷暖房用の熱を製造し、供給地域内の複数の建物に供給するものです。

本事業では、新市庁舎内に熱供給事業者が熱を製造するプラントを設置し、そこから新市庁舎と横浜アイランドタワーに熱を供給することで、熱を製造する設備（熱源設備）の集約化によるスケールメリットを活かした効率の良い運転が可能となります。



図：本事業のイメージ

お問い合わせ先

総務局管理課新市庁舎整備担当課長 神田 岳 Tel 045-633-3910